

南天山

なんてんやま(1483m)

3月山行は、快晴の日和で前日の雨が嘘のようにあがり、小春日和を思わせる暖かなよいお天気恵まれてスタートしました。登山口までバス停から40分。

何度か沢を渡り清らかな水と山の空気を満喫し方印の滝に着いた時は皆さん笑顔がこぼれました。しかし沢を離れてからのジグザグの急登はキツかった。「もう少し、もう少し、稜線は近い」とあえぎながらの登りでした。



眼前に両神山がずっしりと構えており、浅間、甲武信がよく見えます。昼食後、記念撮影、天気よし、表情よし、顔もよし、元気いっぱい面々です。夏予定している両神をどのあたりから攻略するかルートを確認するのも楽しそうです。

深く積もった落ち葉の登山道は穴が空いていたり岩が隠れていたり、うっかりすると足を捕られてしまいます。でも大丈夫リーダーからの「穴があります」「岩があります」「滑ります」の申し送りが最後尾まで届き事なきを得ました。恋のさえずりの練習を始めたうぐいすも仲のいい山の仲間が通ると俯瞰した事でしょう。



下りは沢コースを選びました。天然ミネラル水がおいしい。カラマツからヒノキ林を順調にくだると鎌倉橋に。15時40分にバスはふれあいの森を出発し、道の駅でアルコールを手に入れゆっくりと眠る。今日の料金は2500円でした。バスの中では山岳保険の補助金を支給しました。皆さまお疲れさまでした。(岡村記)